



第189回 令和4年8月1日

# 伊豆歩倶楽部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）  
緩歩で観歩  
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）  
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は  
歓歩で完歩

## ■第238回 伊豆歩倶楽部 8月例会

### 伊豆高原自然遊歩道を廻る

10km 6km

昨年8月に計画したコースで、コロナ感染予防から中止となった企画の復活です。この時期、ウォーカーにとってあまり得意ではない季節ではありますが、比較的涼しい海岸のコースをやや短めに企画しましたので奮ってご参加ください。城ヶ崎海岸コースでは、門脇のつり橋、灯台、蓮着寺が見所ですが、今は裏のコースと言えるコースで伊豆高原駅をスタートし、八幡野港から橋立のつり橋、大淀小淀、とよね、イガイガ根を経て別荘地内に入り高原駅に戻る10キロのコースです。今少し短くご希望の方は、とよねで別荘地に入れば6キロ程になります。



- 【開催日】 令和4年8月21日(日)
- 【集合場所】 伊豆高原駅南口駐車場
- 【集合時間】 10時00分
- 【交通機関】 伊豆急伊東駅9時26分発伊豆高原駅9時51分着  
伊豆急下田駅9時03分発伊豆高原駅9時50分着
- 【出発式・スタート】 伊豆高原駅南口駐車場 出発式10時10分、スタート10時30分
- 【参加費】 会員 無料 一般参加者 500円
- 【コース】 伊豆高原駅➡八幡野港➡橋立の吊り橋➡とよね 6キロコース  
折り返し➡いがいが根➡伊豆高原駅
- 【ゴール】 15時00分予定
- 【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)
- TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717
- 【その他】 ・新型コロナウイルス感染症感染防止のためマスクの着用と熱中症対策も併せて

お願いします。

・新型コロナウイルス感染症感染拡大の時は中止となる場合があります。

## ■第239回 伊豆歩倶楽部 9月例会

### 世界遺産富士山 構成資産めぐり 人穴・白糸ノ滝コース

8 km

3年越しの例会コースです。人穴富士講遺跡は、富士講の開祖とされる長谷川角行が16～17世紀に修行し、入定したと伝えられています。境内には、信者たちが建立した230基の碑塔が残されている。

白糸ノ滝は、富士山の湧水が高さ20m、長さ150mわたって噴出している。16～17世紀、富士講を中心とした巡礼、修行の場でした。近くには、高さ25mの音止の滝もあります。

人穴浅間神社をスタートして、雄大な富士山を望みながら人穴小学校から富士ミルクランドで小休止、あさぎり温泉、岩切不動と進むとゴールの白糸ノ滝です。近くには音止の滝も見えます。昼食をとった後、バスで富士山本宮浅間神社に向かいます。



富士山本宮浅間神社（木花之佐久夜毘売命）は、全国1300余社ある浅間神社の総本宮で、桜が御神木とされている。本殿の東側には、池の底から玉のように水が湧き出ることから名付けられたと伝えられている湧玉池にも参拝します。10分位離れたところの富士山世界遺産センターを見学される方で、70歳以上の方は身分証明書を持参して下さい。入場料（300円）が無料になります。

平坦で家族向きの歩きやすいコースです。途中には美味しいミルク、アイスクリームを味わえます。たくさんの参加をお待ちしています。

【開催月日】 令和4年9月11日（日）

【集合時間】 10時00分（出発式）

【集合場所】 富士宮市 人穴富士講遺跡駐車場

【距離】 8Km

【会費】 会員 10,000円 伊東・伊豆市地区会員 8,000円  
一般参加者 プラス1,000円

【入場料】 富士山世界遺産センター 300円、70歳以上 無料（身分証明書必要）

【募集人員】 23名（会員優先）

【締め切日】 令和4年8月31日（水）

- 【行 程】 中型バス使用 \*早めの集合をお願いします。
- ・松崎・FM5：15→伊豆急下田駅5：55→道の駅「開国下田みなと」6：00→奈良本・小橋6：45→伊豆高原ビール7：00→伊東商高前7：10→道の駅「伊東マリントウン」7：25～7：40→伊豆のへそ8：15→長泉沼津IC→新富士IC→人穴富士講遺跡駐車場9：30～9：40
- 【コース】 ・人穴富士講遺跡（w c）→人穴小学校→富士ミルクランド（w c）→岩切不動→白糸ノ滝（w c）（ゴール予定12：00）
- 【帰宅予定】 白糸ノ滝駐車場発13：30→富士山本宮浅間神社着14：00・発15：30  
伊東着 17：30 下田着 19：00 松崎着 19：45
- 【申込方法】 会員番号、名前、電話番号、乗車場所を記入の上ハガキ、FAX  
電話等で申し込んでください。（一般参加者は生年月日をお願いします。）
- 【備 考】 昼食は、白糸の滝の食堂で各自お願いします。  
\*参加者が15名以下の時は中止とさせていただきます。
- 【申込・問合せ先】 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301  
伊豆歩俱樂部事務局（笹本）  
TEL・FAX 0558-22-5465 携帯 090-2140-1717

※ 感染防止のためマスクの着用をお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止となる場合があります。

## 第237回 伊豆歩俱樂部7月例会

### 頼朝の山を越えて

伊豆歩俱樂部会員番号 N01030 田代優子

伊豆高原で電車に乗り込むと、会長の笹本さん、山本さん、飯作さんがボックス席に座っていた。私を見るや否や、「その格好じゃ、蚊に刺されるな」と口々に言う。見ると三人とも長袖を着ている。今日は暑くなりそうだと、張り切って半袖を着て来た私である。

集合場所の伊豆多賀は無人駅だった。新会員と一般参加者を含め、15人でスタートする。朝からの雨もすっかり上がり、空が明るくなっていく。しかし大きめのビニール傘を持ってきたのは正解だった。駅から国道に降りたのは東の間、すぐに多賀神社に続く大川左岸の坂を上り始めた。傘は杖がわりになった。

伊豆多賀から熱海までは数えきれないほど車で走っている。それとは違う裏の道、つまり伊豆東浦路と呼ばれる古道を徒歩で行く、これが今例会の醍醐味である。そしてこの山越えルートは、我





が伊豆歩倶楽部の清水さんによって「再発掘」されたとのことで、例によって清水さんによる多賀神社の縁起由来として、海の中から見つかった「影(降)石」というものが祀られているとの説明を受ける。珍しい神社である。

坂はますます険しくなる。勾配が20%といわれる「頼朝ライン」。汗だくだ。伊豆歩倶楽部きってのツワモノの先崎さんすら、「こんな暑い日にこんなコースを歩くなんて」とブツブツおっしゃっている。月に150キロは歩くという先崎さんは、今回のコースを歩くために、ご自宅の近所の坂を4日ほど歩いて訓練されたとか。「いったい何を召し上がってその体力を維持されているのですか」と聞くと、「野菜と魚だね」との答え。昭和12年生まれば、杖をついてやっと歩く私の義母と同じだ。ちゃんと運動してきちんと食べれば、いつまでも元気でいられるのだということを実証されている素晴らしいモデルである。



いつもより多く休憩を挟みながら、ようやく「一杯水峠」に辿り着いた。頼朝が伊豆を追われて鎌倉へ逃げる途中、喉の渇きに耐えかねて地面に刀を突きさしたところ清水が湧いたという伝説の地。水場と説明板はあったが、清水は湧いていなかった。そこで昼食。食べていると、大量の蚊が寄ってきたが、半袖の腕は肘上までの日よけ手袋でおおわれているし、クタクタで払う気もしなかった。

峠から坂は少し緩やかになってきた。緑陰を抜けると、そこは妙法寺・・・え、スリランカ??? その仏舎利塔は、かつて訪れたスリランカで見たものとそっくりだった。純白の丸いドームに金色に輝く仏像、円周に釈迦が悟りを開き入滅するまでのレリーフが飾られている。私は不思議な気持ちで入道雲に映える美しい塔を眺めていた。清水さんによると妙法寺は藤井日達という聖人が創設した寺で、ネットによると同寺の仏舎利塔は熱海だけじゃなく、日本各地や海外にもあるようだ。

そこからは一気に下り坂になった。かなり険しい斜面に張り付くように古い家がひしめいている。どうやらここは部外者が通るべき道ではないとのことだが、ここを迂回するのは遠回り。事があつたら対処できるように、と清水さんは痛む足腰を我慢してここまで一行を導いてくださったのだった。たしかに、なんというか、華やかなリゾート熱海の裏にこんなところもあったのかと思わせる異世界だった。

最後の経由地、今宮神社もまた頼朝ゆかりの場である。同神社のHPによると、1200年に頼朝の命により社殿が再建されたとあるが、その年、頼朝はすでに亡くなっていたので完成を見ることはなかったのだろう。当時の肩書で言えば頼朝と同じ地位におられた安倍元首相のご冥福をお祈りした。ご神木の樟が涼しげであった。それから熱海といえどおおむねシャッター街を通り、人ごみでごった返す仲見世通り商店街を抜けて、終点の熱海駅。観光客の行き交うなかで解散式。我らほどおいしいビールを飲める人たちもいないだろう、とちょっとした優越感。

その晩、疲れていつもより早く寝たが、夜中に足の痒みで目が覚めた。数えると10か所ほど蚊



に食われていた。お昼を食べているときに刺されたのだ。かなり厚い登山用のタイツを履いていたのに。我が庭にいる蚊には慣れっ子の私も、山の蚊の毒には参った。あれから三日以上たった今も、ぼりぼりぼりぼり掻き続けている。

## 源氏より蚊の DNA 強かりき

### ◆◆◆例会報告◆◆◆

#### 第 237 回 伊豆歩倶楽部 7 月例会

#### 第 10 回 伊豆東浦路 (伊豆多賀～熱海)

- ・開催月日 令和 4 年 7 月 10 日 (日)
- ・集合場所 J R 伊豆多賀駅前広場
- ・集合時間 9 時 15 分
- ・天 候 曇りのち晴れ
- ・参加者 15 名 (内一般参加者 2 名)
- ・距離 12Km 団体歩行
- ・出発式 9 時 25 分 ・スタート 9 時 50 分  
開会挨拶 笹本祀長会長  
コース説明 清水政悦  
ストレッチ体操 笹本祀長  
檄 山本 清
- ・コースリーダー トップ 山本 清  
アンカー 飯作勝治
- ・閉会挨拶 山本 清副会長



家を出る時は小雨が降っていたが、雨具の支度をして集合場所の J R 伊豆多賀駅に着くと雨も上がっていた。伊豆歩倶楽部は天候には恵まれている。

清水さんの詳しいコース説明と、山本副会長の力強い檄で出発する。長浜海岸から多賀神社に 10 時 15 分、緩やかな上りを進み特養ホーム海光園に 10 時 45 分、約 200m 上り坂を進むと右側に古道東浦路の入り口となるが、道が荒れている為きついのぼり坂の頼朝ラインを進み一杯水峠に 12 時 00 分に着く。昼食をとって 12 時 45 分スタートして妙法寺仏舎利塔に 13 時 15 分着く。小休止をして急な下り坂の桜沢団地を下り今宮神社 13 時 50 分、旧国道 135 号線を進み、熱海市役所 14 時 20 分、桜見町から J R 熱海駅に 14 時 55 分無事ゴールする。

暑い日になりマスクを外し、小刻みに水分補給をして、間隔をとり熱中症、コロナ対策をしての例会でした。

# 伊豆歩俳壇

凌霄花に追ひ詰められて裏熱海

田代夏緒

焼酎の麦派芋派や夏の陣

田代夏緒

冷奴裸一貫誕生日

清水政悦

頼朝の潤いの山蜘蛛の網

清水政悦

小休止緑の間より風の海

徳田尚志

玉砂利の緑陰辿り神訪ね

徳田尚志



・ホームページアドレス <http://www.izuho-club.com>

・メールアドレス [info@izuho-club.com](mailto:info@izuho-club.com)

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。

※会報への投稿は、毎月 20 日までにお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864

携 帯: 090-7675-8682

・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301

『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 祀長

TEL & FAX 0558-22-5465

## ■令和4年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！ 仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。

多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和4年4月1日～令和5年3月31日》

【会費】 継続会員 3,000円/年 家族会員 1,500円/年

新規会員 4,000円（入会金 1,000円 年会費 3,000円/年）

日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。

※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

